

科目名	マンガ概論
-----	-------

火曜日 2時限 10:50~12:20

【担当教員】 雑賀忠宏	対象学年	1	対象学科	アニメ・マンガ	講義区分	講義
	開講時期	①②	必修・選択	必修	校地	古町ルフルキャ
	単位数	2	時間数	30		

【概要】
 本科目ではマンガという文化領域について、その表現上の特徴や多様性、メディアの変遷に伴う産業構造の変化、歴史的展開と世界各地のコミックス文化との関係性など、重要な論点について基本的な知識を概観する。そのうえで、日常生活に埋没したメディア経験ではなく、分析的な思考の対象としてあらためてマンガへと向き合う姿勢を身につけることを目指す。

【学習目標】
 1. マンガ表現、産業、作品等のマンガに関わる研究領域と論点を学ぶ。
 2. マンガ文化の成り立ちから現在の業界環境までの基礎知識を理解する。

単元・回数	授業計画又は学習の主題	学習目標 番号	学習方法・学習課題 又は備考・担当教員
1	「マンガ」とはなにか：「マンガ」の多面性を捉え、語るために	1・2	
2	「ビジュアル・ナラティブ」としてのマンガの表現構造をめぐって①：「マンガ」はなにでできている？	1・2	
3	「ビジュアル・ナラティブ」としてのマンガの表現構造をめぐって②：マンガ表現の視覚的文法としての「コマ」	1・2	
4	日本マンガ史概説①：近代日本における「マンガ」という領域の出現	1・2	
5	日本マンガ史概説②：「戦後ストーリーマンガ」の展開	1・2	
6	近代的「コミックス」の登場と世界のコミックス文化①：アメリカン・コミックスの世界	1・2	
7	近代的「コミックス」の登場と世界のコミックス文化②：バンド・デシネの世界	1・2	
8	〈脱日本〉化するマンガ：マンガのグローバル化と「マンガ・スタイル」の拡がり	1・2	
9	日本におけるマンガ・メディアのありかたとその展開①：〈雑誌〉〈単行本〉メディアと産業・市場・ジャンルの拡大	1・2	
10	日本におけるマンガ・メディアのありかたとその展開②：Web/デジタルメディアの伸長	1・2	
11	日本におけるマンガ・メディアのありかたとその展開③：「マンガ同人誌」というメディア	1・2	
12	文化政策のなかのマンガ：マンガ関連文化施設の拡がりと課題	1・2	
13	マンガを〈語る〉ための言葉の変遷：マンガ論・マンガ批評の展開	1・2	
14	マンガについて語る（実践編）①：紹介対象作品の選定	1・2	
15	マンガについて語る（実践編）②：作品紹介	1・2	

	説明
指定教材 (教科書等)	特になし
参考教材 (参考書等)	①夏目房之介・竹内オサム編、『マンガ学入門』、ミネルヴァ書房、2009年4月 ②竹内オサム・西原麻里編、『マンガ文化55のキーワード』、ミネルヴァ書房、2016年2月 ③京都国際マンガミュージアム・京都精華大学国際マンガ研究センター、『マンガって何? : マンガでわかるマンガの疑問』、青幻舎、2024年4月
準備学習 (予習・復習等)	

【評価方法】 期末レポートによる評価 60% 各回コメントペーパーおよび課題 40% 上記2項目の総合評価	【履修上の留意点】 評価について：期末レポートおよび特定の回での課題提出を求めると共に、毎回授業の中で、理解の到達度を確認する目的で「コメントペーパー」の提出を求め、上記の比率で評価の対象とする。
---	--